

## 《 金 杉 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：9月2日（金） 午後6時から（会 場：金杉区民館下谷分館）

### ◇町会加入促進について

質問	回答	対応
<p>近年、区内マンションの建築数が増えています。新たな入居者やマンション管理者の町会加入に対する意識の低さが目立ち、町会加入への拒否や町会費の徴収に苦勞するなど、町会への理解がなかなか得られない現状があります。</p> <p>災害時対応や防火・防犯パトロール、環境美化活動や地域の維持管理のために町会費は非常に重要であり、町会費が不足すれば様々な町会活動が停滞していくことが考えられます。</p> <p>また、町会と住民が一体となり活性化することで、台東区の魅力の向上につながると考えています。</p> <p>住民が助け合い、支え合いながら安心して暮らしていくためには、町会との連携および町会費は必要不可欠であるということを区からPRしていただけないでしょうか。</p>	<p>区では、「集合住宅の建築及び管理に関する条例」に基づき、10戸以上の集合住宅を建築する事業者に対して、入居者の町会加入について町会と事前に協議をするようこれまで依頼してまいりました。</p> <p>さらに、町会の重要性の理解を促し、町会加入について協力を求めるとともに、町会加入や協議に消極的な場合には、再検討していただけるよう依頼をしているところです。事業者との協議においてお困りのことがありましたら、担当の区民課へご相談いただければと思います。</p> <p>町会活動は、安心安全な住みよい地域づくりのために必要不可欠であり、その維持・発展には区民一人ひとりの理解、協力が求められ、区としてもその重要性を発信していく必要があると考えています。そこで区では、区公式ホームページに各町会を紹介するページを設け、町会ごとの活動や、町会費等についても発信できるようにしました。</p> <p>今後も情報発信の充実を図るとともに、町会加入促進に努めてまいります。</p>	○

◇町会掲示板の増設等について

質問	回答	対応
<p>現在、町会内には掲示板が4つ設置されていますが、行事などをお知らせするポスターやチラシの増加により、掲示スペースが不足しています。また、雨の日は掲示物が濡れ、たびたび破損してしまう状況です。</p> <p>そこで、区内の町会掲示板を増設、もしくは大型化し、雨風を防ぐタイプの掲示板への変更を検討していただけないでしょうか。</p>	<p>町会の掲示板は区民の皆様への周知手段として重要な役割を果たしていると考えていますので、雨風に耐えられる材質の用紙を使用するように周知しています。</p> <p>また、掲示スペース確保の観点から、区からのお知らせについては、ポスターのサイズをA4に統一することを順次進めています。さらに、画鋏抜きと抜き差ししやすい画鋏（ユニバーサルデザイン画鋏）を配付できるようにします。</p> <p>雨風を防ぐという観点から、掲示板にアクリル板を設置することを以前より検討しています。しかし、板の劣化や風による落下など安全面の課題により、実施には至っていません。</p> <p>なお、掲示板の増設については、町会区域内の設置数や地域の実情を考慮のうえ、個別に検討してまいりますので、区民課までご相談ください。</p> <p>※令和4年11月、各町会にユニバーサルデザイン対応の画鋏を配布しました。</p> <p>また、令和5年1月、各区民事務所等へ追加で画鋏、画鋏抜きを配布しました。（区民課）</p>	<p>△</p>

◇金曾木小学校の大規模修繕および増築工事について

質問	回答	対応
<p>令和4年度の金曾木小学校の4月の児童数は482名と区内の小学校では3番目に多く、2年後には大規模改修工事が始まる予定となっています。</p> <p>現在の施設は教室数が足りず、「ランチルーム」を2つの教室に分けて使用し、全16教室としていますが、スペースに余裕のない教室内で30名以上の児童が授業を受けるなど学習環境がよくない状況です。学校は、最低でも1学年3クラス×6学年分の18教室を要望しています。</p> <p>そこで、区と学校が一緒になったプロジェクトチームを結成し、増築工事に加え、30～40年先を見据えた素晴らしい校舎の建設について検討してみたいかがでしょうか。</p> <p>台東区の将来人口推計によれば、生産年齢人口の増加傾向は今後も続く予測されており、学校の統廃合により学校数が減少したままでは区全体の教室数が不足するのではないかと懸念しています。</p>	<p>金曾木小学校の大規模改修工事は、令和4～5年度に設計を行い、令和6年度より工事着工予定です。</p> <p>大規模改修は、学校からの要望や今後の教育を見据えた学校の在り方、建物の状況を分析するなど将来を見据えて、学校と教育委員会、区の関係部署により検討しています。金曾木小学校についても、学校から改修の要望をいただき検討します。</p> <p>工事設計については設計業者に委託し、建築基準法等関係法令を踏まえ、人口動静を考慮した教室数の確保、ICT環境の整備、省エネルギー設備への転換など時代に合った教育環境となるよう進めてまいります。</p> <p>現状の普通教室数の不足が見込まれる場合は、まず、指定校変更や区域外就学を制限して、児童数の増加を抑える対策を行います。それでも普通教室数の不足が見込まれる場合は、空きスペースの活用や、特別教室を普通教室に転用する等、教室数を増やすよう適切に対応します。</p> <p>引き続き学校や教育委員会、関係部署が連携、協力しながら進めてまいります。</p>	<p>◇</p>

◇荒川氾濫時の水害対策について

質問	回答	対応
<p>荒川の水害時において、町内のほとんどが3～5mの浸水地域となっています。現在の対策は避難することですが、避難場所である東泉小学校も同様の浸水地域となっており、2階以上への避難が求められます。</p> <p>しかし、東泉小学校における備蓄庫や非常用の設備、電源は1階にあるため水没が予想されます。そこで以下3点の対策を検討いただきたいです。</p> <p>対策1 東泉小学校の主要設備が水没しないように2階以上に移設する。</p> <p>対策2 町内の共同住宅を一時避難場所として使用することについて、住宅所有者と区で理解を得られるようにする。</p> <p>対策3 町内の共同住宅においても、主要設備・電源等が水没しないように、設計段階から織り込むように条例等を整備する。また、既存の建物については、移設についての助成を行う。</p>	<p>金杉地区では、荒川氾濫、内水氾濫、高潮が起こる可能性があります。その中でも荒川が氾濫した場合、浸水の深さが3m以上、浸水継続時間が2週間以上と想定され、区内の小中学校の避難場所や町内の共同住宅等で垂直避難すると孤立する恐れがあります。荒川氾濫の際には区が広域避難情報を発表しますので、浸水想定区域外の知人や親せき宅、ホテルなどへ早めに避難するようお願いいたします。</p> <p>また、内水氾濫や高潮の場合、多くの地域で浸水が1m未満と想定されているため、2階以上にお住まいの方には、ご自宅の安全が確保できれば「在宅避難」をお願いしています。なお、1階にお住まいの方など避難が必要な方には、区内の小中学校17か所に避難場所を開設します。</p> <p>小中学校の主要設備を2階以上に配置することについては、今後防災施策の1つとして大規模改修時等に検討してまいります。</p> <p>また、備蓄庫が1階にある避難場所については、できる限り浸水前に備蓄品を2階以上に移動します。</p> <p>今後も防災施策を着実に推進し、区民の防災力の向上を図ってまいります。</p>	<p>☆</p>

◇町会加入促進について

質問	回答	対応
<p>区民事務所にマンション建設時の取り決め事項や町会費の協力について記載されたものがあるが、今後はちゃんと協力するような文言を強調して書いてもらいたいです。</p>	<p>条例を制定したのが平成20年であり、当時の社会環境とも随分違うため、町会の今後の在り方も含め、今後検討してまいります。</p>	<p>☆</p>